

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和8年3月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103730
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 笹貫の家
所在地	鹿児島県鹿児島市小松原一丁目1番2号 (電話) 099-268-2627
自己評価作成日	令和7年12月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和8年3月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームの裏手を鹿児島市の市電が日頃から行き来しており「ゴトン、ゴトン」と市電の走る音が心地よく聞こえる場所にあるグループホームです。鹿児島市南部のほどよい街中にあり、市電の他に公共交通機関は充実しており、ご家族様等の面会には便利な地域にあると思います。「あなたが今できることを大切にし。」職員他「地域や家族と共に支援し、」「笑顔の絶えない/ゆっくりと安らげるグループホームを」との理念を掲げて、利用者様の生活ペースを大切にそて、お一人おひとりの想いや時間に寄り添い暮らし共にさせていただいています。感染症対策を行いながら、定期的な外出や皆様に喜んでいただける季節ごとのイベント等を計画し行えるよう取り組んでいます。町内会に加入して、清掃活動や防犯パトロール参加を通して、地域の方々とも日頃から交流させていただいています。健康管理・医療的な支援については、利用者様が希望される医療機関や協力医療機関への通院や訪問診療での支援をし、医療連携している訪問看護ステーションに、日頃から利用者様の健康状態を情報共有や相談できる体制があることで、健康についての安心に繋がれるよう取り組んでいます。他、協力歯科医院があり、通院支援や歯科訪問診療をして、お口の健康を保てることで「いつまでも美味しく食事がとれて、元気で過ごせます。」の理念を実践できるよう取り組んでいます。毎月「笹貫だより(ホームお便り)」をご家族様等に送付して、ホームでの暮らしの様子や予定などお伝えし、ご家族様等に本人様やホームのことの情報を共有していただいています。ホーム近隣に公園やお店、レストランや郵便局などあり、地域の社会資源にも恵まれた環境にあり、晴れた日は心地よい陽光が差し込み、時間の流れがゆっくりと感じられるグループホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所周辺は、交通の便も良く、日頃から電車の行き来する音が事業所内に聞こえていて、電停も近くにあり、便利である。
- ・家族との繋がりを大切にして、感染状況を把握しながら家族との面会の方法等について色々と工夫をしている。
- ・地域との交流や行事に清掃活動や防犯パトロール等の参加を継続している。
- ・食事については、事業所内の栄養士が献立を作成しバランスの良い食事作りができています。週4回夕食の宅配サービスを利用し、介護職員の介護負担の軽減を図っている。
- ・協力医療機関等やその他の訪問診療・定期の通院で、家族の希望するかかりつけ医を継続支援している。
- ・訪問看護ステーションと医療連携を図り、24時間医療連携体制ができています。
- ・管理者は、職員の個人的な相談にも日頃から応じていて、職員からの信頼もある。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼後に勤務者全員で理念の唱和を行い、理念を意識付けしてケアの実践ができるように取り組んでいる。12月にスタッフ全員で理念を振り返り、理念の実践ができていたかを、管理者とスタッフ全員で見直しを含めて協議している。	理念はホール内の目につきやすい場所に掲示し、パンフレットにも掲載している。理念は開設以来変更はない。毎日の朝礼後に唱和している。年度末に1年の振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会加入をして、町内会主催の夏祭りや清掃活動に参加させていただき、夜間防犯パトロールには一員として管理者と男性職員が参加し交流している。地域のまち美化委員にも登録させていただき、町内会の方々の清掃活動等に参加して日常的に交流している。	町内会に加入し総会にも参加している。回覧板に事業所の案内も掲載している。地域の行事として、年2回の清掃活動や防犯パトロール活動に参加している。高校の福祉科の実習生を受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の場を活用して、グループホームでの取り組みや実践を発信したり、毎月のホーム便りで日常の様子等を掲載し、町内会会長や民生委員、地域包括支援センターに配布して、認知症の人の理解や支援方法等を地域の方々に向けて活かす事に取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の会議を事業所内で開催し、地域代表の町内会会長や民生委員、地域包括支援センター職員、利用者様の家族様に参加いただいて、運営状況報告や、それについてご意見等いただきサービス向上に活かせるよう取り組んでいる。	2ヶ月に1回、会議を実施している。ヒヤリハット・利用者情報・活動状況・事故等の報告をしている。内部研修だけでなく、外部からの研修も必要との意見を頂き、訪問看護ステーション管理者に研修を依頼した。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	福祉事務所(生活保護課)と連絡相談が多くあり、個々の利用者の医療機関受診状況や生活支援等で連携させていただいている。必要に応じて市の介護保険課に連絡相談をし、日常的に協力いただけるよう努めている。	支所へ介護保険の更新、生活保護者のオムツの申請、身体障がい者の手続き等で出向いている。生活保護者の入所があり、保護課からの情報を得ている。市からの研修案内はメールで来ており、参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	代表者と管理者、また全スタッフは、身体拘束が及ぼす心身への影響や弊害について理解を深め、身体拘束をしないケアの実践について定期的に研修を行い学びを深めている。月々のスタッフミーティングにおいて、センサー使用目的や玄関の施錠等を含め、身体拘束の該当有無を協議し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	マニュアルがある。年4回身体拘束適正化委員会を開催している。内部研修を年3回資料や事例を通して言葉遣い等についても研修をしている。日中は施錠はしていない。外出希望者は、話を聞いたり、周辺の散歩に同行して気分転換を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束をしないケアと併せて定期的に研修を行い、高齢者虐待が及ぼす心身への影響や弊害についてを、管理者と全スタッフは学びを深め、月々のスタッフミーティングで虐待につながるような事例の有無を協議し、管理者や職員は日頃から虐待防止についての意識を持ち従事している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的な内部研修時に、権利擁護についてをとり上げて、成年後見制度をはじめとする利用者の権利擁護について学ぶ機会を作っている。成年後見制度を利用されている利用者様があり、活用していただきながらの支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約の時は、懇切丁寧に十分な説明をさせていただき、利用中の不安や疑問点をお聞きしてご理解いただけるお返事を心がけている。ホーム利用中に怒りうる様々なリスクについても説明文書を通してご理解いただけるように取り組んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から気兼ねなくご相談やご要望をいただけるようにし、主に面会時やお電話、運営推進会議の場でお受けさせていただいている。ご利用される上での困り事等を教えていただいて、それをホーム運営に反映できるように取り組んでいる。	利用者からは、日頃のケアの中で意見を聞いている。家族には、会議に参加の時や面会時・電話等で意見を聞いている。毎月便りを作成して、行事参加の様子や生活の様子に一言添えて報告し、意見や要望等を聞く機会作りをしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月々の職員ミーティング時を中心に、管理者はスタッフから意見等を聞く機会を作り、それを代表者に伝えられるようにして反映できるよう努めている。日頃から管理者に些細な事でも相談や意見を伝えられる雰囲気や環境作りに努め、コミュニケーションを図りながら反映できるようにしている。	月1回のミーティング時や管理者と職員のやり取りノートでも思いを聞いている。管理者から職員へ声をかけて聞く事もある。昼の休憩は食事時間を入れて1時間取れている。個人面談は必要時に実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は管理者より実績や勤務状況等の報告を受け、職員が向上心をもって働けるような研修企画や案内を管理者経由で発信して、職場環境や条件の整備に努めている。介護支援専門員試験合格者や勤務功労者への表彰も法人内の管理者会議の機会に行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者やスタッフそれぞれの状況を把握して、法人内外で行われる研修の発信をして受ける機会を作り、それぞれに合った研修に参加できることで、働きながらスキルアップにつながるトレーニングを進めている。介護実務者研修も法人内で行いスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月行われる法人内のグループホーム管理者会議で、管理者同士は情報交換等の交流を図ったり、法人内で行われる研修参加や他事業所への応援助勢の機会に相互の職員間で意見交換等の交流ができる機会を設け、スキルアップやサービスの質向上につなげられる取り組みを実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを開始する段階で、本人様の現段階や先々についての困り事や不安や要望を傾聴して、本人様が安心してサービス利用できるための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始する段階で、家族様等が現段階や先々のことでの困り事や不安・要望を傾聴して、本人様やご家族様が安心してサービス利用ができるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始の段階で、その時にまず必要とされている支援を話し合い、居心地よく過ごしていただけるように、他のサービスも含めて柔軟な対応に努められるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	従事するスタッフは、パーソンセンタードケアの視点に立ち、意識を持てるように努め、グループホームでの暮らしを共にさせていただく為に、良好な関係性を築け、本人様の安心と尊厳が守られる暮らしが送れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は本人様と家族様の関係を正しく理解して、お互いの絆を大切にしながら理念の通り、本人様を家族様と共に支援しているように、常日頃から取り組めるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策には十分に配慮しながら、面会や家族様の協力で外出支援を行っている。日頃から電話を受けかけして相互の近況を話されたり、年賀状を頂いたり、本人様にとって大切な関係が途切れないような支援に取り組んでいる。	家族や友人・知人等の面会が玄関で出来ている。電話やはがき等の取次ぎをしている。家族支援で墓参りや外出・外食等で楽しんでいる。美容師の訪問がある。家族が馴染みの美容室に一緒に出掛けることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの利用者様の性格やお互いの相性を把握理解して、利用者様同士が談笑したり、レク活動や生活リハの家事等を通してコミュニケーションを図り、相互に支えあい日常的な交流できる場面づくりを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、その利用者様家族からご連絡を頂いた際には、近況を伺ったり、ご相談をお受けして、できる範囲内でのフォローをさせていただくことなど、関係性を大切にできるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常をどのように過ごしたいかを、本人様から暮らし方の希望や意向を定期的に伺い、スタッフ間で共有し思いに添えられるように努めている。困難な時には、本人本位で検討して取り組んでいる。	利用者からは、日常的な会話の中で主に入浴時や夜勤帯等に思いや意向を聞いている。困難な場合は、表情・仕草・声のトーン等で把握して、記録に残し職員間で共有している。生活歴を参考にしたり、家族に聞く事もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしや生活歴、本人様の人生史を含めて、ホーム利用開始時やその時々本人様や家族様に伺いながら把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り時やお一人ずつの個別記録等でスタッフ全員が共有して、その人の心身状態や現状の有する力等の把握に努めている。個別ケア記録や個々のバイタル等チェック表、ケース記録と月々のケアカンファレンス時に職員間で協力して取り組んでいる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は、現在の本人様の思いや暮らしへの意向や要望、また家族様の思いを反映した内容を作成できるよう努め、より良い暮らしの支援ができるような目標設定や内容を、現状に即した介護計画となれるよう作成している。	本人や家族から電話や面会時に意見や要望を聞き、主治医からは受診時に聞き取りをしてカンファレンス時に全員でモニタリングをして話し合い、介護計画を作成している。6ヶ月ごとに見直しをしている。入院・退院時は、必ず見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各利用者様ごとに個別のケース記録や食事水分摂取量/排泄等記録、バイタル表を作成し、利用者様の中で心身状態の変化が著しい場合は詳細を記録できるようにし、記録を通してスタッフ間で情報共有してケア実践に向けて協議できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様や家族様の状況変化や現状のニーズ等の変更には柔軟な支援ができるように努めている。その際は職員間でカンファレンスを通して協議し、今後としてどのような支援ができるのかを協議して提供できるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の町内会に加入して、町内会主催の夏祭りに参加させていただいたり、近隣のお店まで買い物や公園まで散歩に出かけたりと、本人様にとって暮らしが楽しめるような支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人様や家族様より希望されるかかりつけ医を伺い、希望されるかかりつけ医を受診できるようにしている。特に希望が無い時は、本人様の既往・現病や心身状態を確認して、本人様や家族様と話し合い、かかりつけ医を決め本人様が適切な医療を受けられるような支援に取り組んでいる。	希望のかかりつけ医を支援している。月2回の訪問診療と定期受診を職員の同行で実施している。契約している訪問看護ステーションと医療連携体制が取れている。健康フェックに週1回訪問や歯科の往診がある。他科受診は家族が基本になっているが、職員が同行する事もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の健康状態については、医療連携している訪問看護STの看護師に相談して適切な受診や看護を受けられるようにしている。週1回の医療連携日には利用者様の健康面での変化や気づきを相談し情報共有が図れるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院になった時は、医療機関側の相談員様とこまめに連絡を図りながら、必要に応じ入院先の医療機関に伺い、入院中の状態を教えていただいたり本人様と面会して、できるだけ早期の退院ができるよう、家族様とも連携を図りながらの支援に取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に、重度化や終末期に関する当事業所としての指針をご説明している。また利用途中に折をみてご意向を確認できるように努め、重度化や終末期に向けた相互の方針と共有ができるよう取り組んでいる。主治医より終末期にあたるとの所見の場合は、ご意向を相互確認しながらの支援ができるよう取り組んでいる。	重度化等の指針がある。入所時に説明をして、同意書をもっている。重度化時には、主治医から、家族へ病状について説明し、医療機関か施設等の意向の確認をしている。看取りの事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療連携している訪問看護STの看護師より、応急手当や初期対応について指導助言していただき、実践力が身につくように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に火災や非常災害時想定 の避難訓練を行い、訓練を通して避難方法を学んでいる。また火災や非常災害時には、地域住民の方々からも救助の協力をいただけるよう、運営推進会議の際に協力が得られるよう働きかけている。	年2回昼夜を想定して防災訓練を実施している。火災や水害・地震・台風等に備えている。1回は消防署の指導を受けている。1回は自主訓練をして、通報・避難・誘導・消火等の訓練を実施している。機器点検も年2回実施している。事業継続計画（BCP）は作成済で1年に1回見直しをしている。備蓄は、2～3日分の水・米・菓子・缶詰・レトルト食品等がある。カセットコンロ、懐中電灯等の準備もしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月々のミーティングやケアカンファレンス時や日頃から、利用者様に対しての言葉かけや関わり方、接遇等について、人格を尊重し恥ずかしい思いをさせない事や誇りやプライバシーを損ねない心ある対応ができるよう全員で心がけ、不適切な関わりが無くせるように取り組んでいる。	年1回、プライバシーや人格の尊重・言葉遣い等について研修している。排泄時や入浴時のドアの開閉、トーンを下げての声かけ、入室時のノック等に配慮している。利用者はさん付けで呼び、衣類の選択については自己決定できるように支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の生活場面で、選択肢を提供して希望や自己決定ができる場面を作り出せるように働きかけている。例として食べたい物や出かけたい所など、その時の希望を伺い沿えるような支援ができるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様本位にその人らしく過ごしていただけるように、個々の利用者様の生活ペースを大切にして、思い思いに過ごせるように希望に沿って支援ができるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その日に着たい服を本人様に選んでもらったり、髪型の整容時は鏡の前で好きなように整えられるよう見守り、約2ヶ月に1度の訪問ヘアカットを美容師を招いてしていただき、暮らしの中で身だしなみやおしゃれができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	台所やカウンターにて、利用者様と共に料理に使う食材の下ごしらえを準備することや食後の片付けや食器洗いなどを一緒に取り組んで、食事を楽しむ環境作りと、献立も楽しめるものとなっている。	事業所の栄養士が献立を作成し、週4回夕食のみ配食サービスを利用している。買い物は週3回出かけている。行事食は弁当を準備し、おせちは手作りで楽しんでいる。誕生日はちらし寿司をしている。野菜の下準備や味見等で利用者と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士資格のあるスタッフが献立作成している。お一人ずつの食事量や水分量を把握して記録しており、その人に合った食器や湯呑の選定に配慮したり、食事習慣に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の利用者様の口腔状態を確認しながら本人の力に応じた口腔ケアに取り組み、協力歯科医院への定期的な歯科受診をして、利用者様のお口の健康の維持に取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様お一人ずつの排泄パターンを把握できるよう記録している。できる限りトイレで排泄できるように取り組み、失敗やオムツの使用頻度が減らせるように、全スタッフで取り組んでいる。	排泄チェック表を作成して、排泄パターンを把握し、日中はトイレでの声かけや誘導をして排泄を促している。トイレへ移動しての排泄を繰り返す事で、リハビリパンツから布パンツに変更になった事例がある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が心身に与える影響や原因をスタッフは理解して、繊維類や乳製品を摂っていただいたり、身体を動かす機会を作り、生活上の工夫で便秘予防ができるように取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の時間や方法は、それぞれの利用者様に合わせて気持ちよく入れるよう配慮して楽しめるように支援している。入浴剤も適宜使用してお風呂時間を楽しんでいただけるように取り組んでいる。入浴前後には全身の皮膚状態も合わせて確認して皮膚トラブル予防にも努めている。	入浴は週2回午前中に実施している。入浴拒否のある人は、時間をずらしたり、声掛けを工夫したりしている。入浴剤を使用している。シャンプー・リンスは各自で持参している。入浴後、保湿剤を塗布している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの利用者の睡眠スタイルを把握して、居室の空調や照明に配慮しながら眠れるよう支援している。日中も昼寝の習慣がある方は短時間の休息時間の機会を作って差し上げ、その人に合った休息時間の機会づくりの支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されるお薬については、受診内容と処方されたお薬について、その目的や副作用と用法用量を理解するよう努めて、賞状や心身変化の確認も行いながら利用者様の服薬支援に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人ずつの生活ペースを把握して、その方ができることや得意とされることの役割を担っていただき、好きな趣味活動やその日ごとの楽しみ事ができるよう支援し、それぞれの利用者様が気分転換を図れるように努め取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	感染症対策を行い家族様にも理解協力を得ながら、お墓参りや外食など外へ出かけていただけるように、日頃から外出できる楽しみに寄り添えるような支援に取り組んでいる。気候や天気が良い時は、近くの公園やお店などへの散歩に出かけたり、個々の利用者様の希望や状況に合わせての外出支援に取り組んでいる。	天気の良い日は周辺の散歩に出かけている。近くにコンビニや公園等がある。家族の支援で医療機関同行や墓参りや外出・外食等の支援をしている。年間行事計画がある。馴染みの美容室に家族と出かけている利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことや使うことの大切さをスタッフは理解して、欲しい物がある時や買い物に出かけたいと希望がある時には、スタッフであったり家族様の面会時に散歩を兼ねて近隣のお店に買い物にでかけられるよう日頃から行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	日頃から家族様からの電話の取次ぎや電話をしたい時はかけて差し上げたり、年賀状や暑中・寒中見舞いを通して大切な人との交流を続けていただけるような支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは快適に過ごせる空調調整を行いながら、照明程度やテレビ等の音量、その他の生活音も不快に感じないよう日頃から配慮しながらの生活支援に取り組んでいる。季節ごとに共有スペースの壁には、季節がわかり楽しめるような壁面作りに取り組み、利用者様にも参加していただきながらの制作に取り組んでいる。	日当たりの良いホールには空気清浄機や加湿器等がある。エアコン・ソファ・テーブル・椅子・テレビ等があり、窓を開けて換気をしている。遮光はカーテンを利用している。ホールの壁には、季節の花や行事の折り紙や貼り絵・塗り絵等を掲示して季節感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの利用者様の関係性や相性、状況に配慮して、居心地良くゆっくり過ごしていただいたり、気の合う利用者様同士で思い思いに過ごせられる席配置などの共有空間作りに取り組んでいる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様にとって大切な物や馴染みある物をできるだけ持ち込んでもらえるよう協力していただき、本人様が安心して過ごせるように支援させていただいている。	ベッド・エアコン・洗面台・タンス等を設置している。寝具は持ち込みで、位牌・仏壇・衣装ケース・ハンガーラック・テレビ・ラジカセ・ソファ等の持ち込みもある。馴染みの物を持ち込んで、居心地よく過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室前には表札を設置したり、トイレ前や浴室前は多角的に見てわかるよう「お便所」や「お風呂」の貼紙を掲示して、一人ひとりのわかることやできることに働きかけ活かせるよう工夫して生活が送れるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない